

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	和歌山県橋本市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	橋本市文化遺産活用プラン	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 31 年度 ～ 平成 34 年度		
5 実施計画の概要			
<p>本市の長期総合計画において、人口減少が課題となっている。それに伴い文化の担い手の衰退も想定される。</p> <p>古佐田区で祭礼時に曳行する山車に関して最近では劣化が酷く修理・補強の必要に迫られているが、若者の街離れ、住人の高齢化等で財政的に余裕が無い。</p> <p>古佐田区としても、先祖伝来の山車を次代に引き継ぎ、地元の宝として残していきたい。</p> <p>さらに、この山車を媒体に地域のコミュニケーションの向上に役立つものにしていきたい。</p> <p>現存の形式を保ち、山車構造の劣化部分(妻台木・装飾金物・屋根・彫刻)等を部分修復を計画。作業の過程を通して地域の伝統文化を伝える資料と行事の継続と継承を推進する。</p>			
6 実施体制			
<p>事業については、相賀八幡神社氏子地域文化遺産総合活用推進実行委員会が実施し、相賀八幡神社、古佐田区自治会、古佐田区老人会、古佐田区婦人会、古佐田区子供会、古佐田区消防団とも協力していく。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果			別紙①のとおり
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 千円	平成31年度申請額： 7,598 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<ul style="list-style-type: none"> ・山車曳行・御神輿(おみこし)・天狗(てんぐ)・獅子(しし)・幟(のぼり)・大字御幣(おおあざごへい)・稚児行列等のすその拡大 ・祭りの普及啓発による観光客の増加 ・映像記録を作成することで、祭りの記録や修復の行程などを残すことができ、情報の発信もできる。 ・他の地域の保存団体との連携や保存継承に対する啓蒙等 			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>相賀八幡神社秋季禮大祭や相賀八幡神社氏子地域子供お囃子教室等を通じて後継者の育成や祭禮行事への住民参加数の増加をはかり、地区住民の祭禮保存並びに継承の大切さを祭禮を通して祭禮文化継承に深く関心を持って頂く。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	橋本市 教育委員会 生涯学習課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	祭禮準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数	関連事業:	①, ②		
目標値 1 :	【現状値】 平成 30 年度 110 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 130 人				
設定根拠 1 :	他の地域の保存団体との連携や保存継承に対する啓蒙等				
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 2 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 2 :	地域の祭礼行事への観光客数	関連事業:	①, ②		
目標値 2 :	【現状値】 平成 30 年度 600 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 900 人				
設定根拠 2 :	祭りの普及啓発による観光客の増加				
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率				
平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
人	人	人	人	人	人

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	相賀八幡神社禮大祭文化遺産総合推進事業	実施団体：	相賀八幡神社氏子地域文化遺産総合活用推進実行委員会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ・祭礼前の打合せ ・子供太鼓教室、祭礼準備、祭礼期間及び山車の修復の映像記録 ・ネット媒体による配信、DVD作成(100部)及び配布 					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	祭禮準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 110 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 130 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	
事業②：	相賀八幡神社禮大祭文化遺産総合推進事業	実施団体：	相賀八幡神社氏子地域文化遺産総合活用推進実行委員会			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 31 年度			
事業概要：	<ul style="list-style-type: none"> ・祭礼時に使用する山車の劣化が酷い ・先祖伝来の山車を次代に引き継ぎ、地元の宝として残していく。 ・現存の形式を保ち、山車構造の劣化部分(妻台木・装飾金物・屋根・彫刻)等の部分修復。 					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	祭禮準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数					
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 110 人 ⇒ 【目標値】 平成 34 年度 130 人					
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度	
人	人	人	人	人	人	